

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「全裸全力阻止青年」

テーマ：「炎の使い手なのに、極度の暑がりな美少女」

キャラクター

60

ストーリー

50

テーマ(設定)

65

文章力

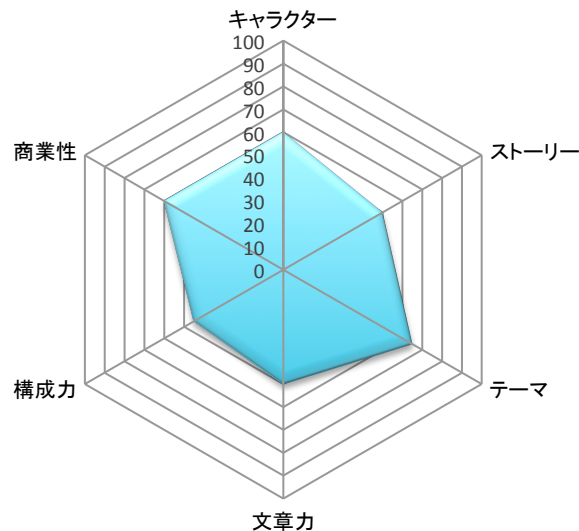
50

構成力

45

商業性

60



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語が都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものが無い

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

一行コピーでもある「つまり、あんたが脱ぎそうになったらとめてくれ、と。そういうことか?」という、よく考えればわけの分らないテーマがぶっ飛び過ぎていて非常に面白かった。「無理やり脱ぐのを遅らせるなんて不快な思いをしなくても済むのですよ」という、まるで脱ぐのを防いでいる側が悪だといわんばかりのぶっ飛び発言もわけが分からな過ぎて笑った。しかも各人間の能力がきとうにとって考えたものではなく、こうして脱ぐのか脱がないのかというテーマに結びついている点が非常に面白い。フレアは美少女というより美女だが、脱ぎたがりという設定は美少女よりも美女であった方が生かされたと考えられるため英断であったと感じる。恐らく50枚という制限に合わせる為に致し方なく削ったものと思われるが、具体的な情景が想像しづらいシーンがあり、もう少し具体的な情景描写が欲しいと思う場面が多かった。恐らく詰め込み過ぎたため必然的に展開がはかばかしくなってしまうためと思われる。

・この作品の最大の魅力は非常識が常識というはちゃめや設定にある気がする。バトルにおけるシリアスな雰囲気などはもっとギャグに傾けてしまっても良かったのではないかな? そうした方が、よりこの作品の魅力が一点集中する意味で生かされて来たのではないかなという気がする。

合計加点ポイント 0

総得点: 330 / 600

B方式総合得点: 18150 点